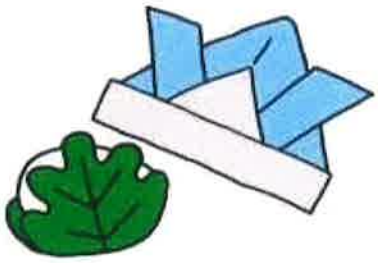
園だより



令和４年度５月１日

社会福祉法人　新田保育園
園長　大西　陽子

『心の育ち』

初めての休園を過ごしたあの春から３年目を迎えようとしています。これまで、感染対策を第一に子どもたちの体の健康を守ろう。保護者の就業を我々保育園が止めるようなことがあってはならない。と必死に進んできました。

先日の会議では、３年目もこのまま突き進むので良いのだろうか、もちろん体の健康を大切にすることや休園にしてしまうことはあってはならない事である。けれど、保育園で働く私たちにはそれらと同じくらい心の健康を育んでいく義務があるのではないだろうか。と意見があがりました。これまでも大切にしたい保育を守る為には？と話し合いを重ねてきましたが、今回も再び、これまでの子どもたちの姿を具体的に振り返って話し合いをしました。

子どもたちの中にはマスクなしの保育者の顔を見たことがない子どもが何人もいます。ままごとの際に持ってきてくれた食べ物を「もぐもぐもぐ」と言いながら実際の口元を見ることはありません。食事も同じです。「噛み噛み」と言いながら見えるのはマスクで覆った口元です。大きいお兄さんお姉さんと一緒に行く散歩の機会も奪われてきました。小さい子の前でリズムや太鼓を披露する。皆で誕生を祝うということも思うようにはできませんでした。そんな中でもあの世代ね。といつか子どもが苦労することのないように、つけたい力を育むために試行錯誤してきました。口の動きが分かるようなイラストを食事スペースに張り出してみたり、窓越しに大きい子の姿を覗きに行ったり、クラスの中でも十分に生まれてきたことを誇りに思えるような体験をと誕生会を進めてきました。

新田保育園で大切にしていることの一つに異年齢保育があります。「ああいう風になりたい」という憧れの気持ちをもつ事が「こんなことにも挑戦しよう」「真似してみよう」と思いに繋がる。頼られる経験をすることで自分に自信を持つ姿がある。皆の前に立って自分を表現する体験の積み重ねが卒園式の時の姿に繋がっているのではないか。年下の友だちに見守られる中で張り切る姿、大切にしようとする感情の育ち。また、子ども同士の方が大人が伝えるよりも伝わりやすい場面が沢山あるよね。人は人の中で育ちあうよね。等々。皆で実際の子どもの姿を思い浮かべながら話すうちに、これからも大切にしていきたい保育を再確認したのでした。新たな視点や手立ても加え今年度も子どもの育ちに心を寄せた保育に臨んでいきたいと思います。　　（文責：石井あゆみ）

５月の予定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
５月		頭シラミチェック							避難訓練	健康体育	健康診断（０・５歳児）		誕生会・写真の日・りす組懇談会						合宿薬確認日	ことり組懇談会			合宿荷物点検	いってらっしゃい集会	ぞう組合宿	→	→				